

# 会 議 録

平成 29 年 3 月 13 日調製

審議会等名	平成 28 年度 第 2 回三条市文化財保護審議会		
公開の別	全部公開		
開催日時	平成 29 年 2 月 23 日（木）午前 10 時～11 時 30 分		
開催場所	三条市中央公民館 大集会室	傍聴者	なし
出席者	審議会委員 荒木会長、渡辺副会長、石澤委員、岩田委員、岡村委員、佐藤委員、関委員、高橋委員、田中委員、長谷川委員、平山委員、松井委員、六原委員		
	事務局 金子生涯学習課長、阿部課長補佐、田村係長、勝山主任		
欠席者	松岡委員		
議題	(1) 長野遺跡出土品の三条市指定文化財の指定について		
	(2) 平成 28 年度芝地鶏（日本鶏）等級審査について		
	(3) 『三条市文化遺産リスト』について		
	1 開会のあいさつ		
	2 議題		
	(1) 長野遺跡出土品の三条市指定文化財の指定について		
荒木会長	事務局より説明願いたい。		
事務局	<p>三条市文化財保護条例の規定により三条市指定文化財の指定について、三条市教育委員会から平成 29 年 1 月 27 日付けで三条市文化財保護審議会あてに諮問があった。</p> <p>諮問の指定物件は長野遺跡出土品であり、種別は有形文化財の考古資料、員数は 221 点、所有者は三条市となっている。</p> <p>長野遺跡は、三条市指定名勝八木ヶ鼻を眼前に望む三条市長野字下田に所在する縄文時代中・後期を主体とする大集落跡である。平成元年に国営総合農地開発事業に伴い下田村教育委員会が発掘調査を行い、竪穴式住居などの多数の遺構が検出された。出土品は、縄文時代早期から後期のもので、縄文土器片や石器などが多数出土している。その中から、縄文土器 74 点、石器 67 点、土製品 78 点、石製品 2 点の合計 221 点について指定物件候補とし、現在、これらの出土品は下田郷資料館で展示や保管をしている。</p> <p>長野遺跡出土品のうち、縄文時代中期の縄文土器は、東北、北陸、北関東、信州地方の様相が見られるものがある。また、復元された火焰型土器や王冠型土器は長野遺跡を代表する出土品となっている。さらに、縄文時代早期の土器片や土偶、縄文時代の暮らしを物語る多種類の石器などが出土している。黒曜石製の石器は縄文時代の交流を物語っており、特に栃木県高原山産黒曜石<sup>たかはらやま</sup>については、「八十里越」を越えた他地域との交流を示しているものと考えられる。また、石製品のヒスイ製の<sup>たかはらやま</sup>大珠は、糸魚川地域などとの交流を示すとともに長野遺跡が地域の中心的なムラであった</p>		

	<p>ことを示している。</p> <p>これらの長野遺跡出土品は、長野遺跡と合わせ、平成 28 年度に日本遺産に認定された『「なんだ、コレは！」信濃川流域の火焰型土器と雪国の文化』のストーリーの中核となる構成文化財である。</p> <p>以上のように、長野遺跡出土品 221 点は、三条市を代表する考古資料として保存・活用を図る必要があることから、市指定文化財の指定について諮問されたものである。</p>
荒木会長	縄文土器の出土総数が約 137,000 点とあるが、その中から状態のいいものを指定物件として選んだのか。
事務局	多数の出土品の中から状況が良く、特徴が分かるものを選び、指定物件候補とさせていただいた。
荒木会長	これらの出土品以外は、どのように保管されているのか。
事務局	長野遺跡出土品は、発掘調査の整理作業で 1 点ごとに出土地点等を注記し、コンテナに収納し現在収蔵庫に保管している。また、将来的に整理・研究が進み、時代の基準となるものや器形に復元できるようなものが新たに確認された場合は、さらに追加の指定を検討させていただくことになると考えている。
荒木会長	他に質問、意見はあるか。
	(質疑、意見なし)
荒木会長	諮問のあった長野遺跡土品について、文化財保護審議会として三条市指定文化財に指定することが適当であると答申することに賛成の方は挙手をお願いします。
	(一同挙手)
荒木会長	三条市指定文化財に指定することが適当であると答申する。
	(2) 平成 28 年度芝地鶏（日本鶏）等級審査について
荒木会長	説明についてどうするか。
事務局	等級審査を担当した岡村委員から説明をお願いしたい。
岡村委員	<p>昨年 8 月 11 日に日本鶏保存会が主催し芝地鶏（日本鶏）等級審査会を開催した。</p> <p>三条市芝地鶏（日本鶏）等級審査会審査基準により審査員 3 人が審査に当たった。出品は 7 羽あり、そのうち 6 羽が総合評価 A となった。B 評価となった 1 羽は形が小さかったが、全体としてできが良く、昭和 50 年代頃の形に近づいてきており、体形がすっきりしたものになってきて、ここ 2、3 年の繁殖の成果が見られた。</p> <p>総合評価 A となった 6 羽を優良品種の芝地鶏として、指定台帳に登録をお願いしたい。</p>
荒木会長	体重が 1 kg 未満であると未熟ということか。
岡村委員	体重は雄が 1.3 kg が標準であり若干の増減があるが、1 kg 未満は小形とになってしまい評価が下がってしまう。

荒木会長	日本鶏保存会の皆さんで後継の繁殖に努力され、市指定文化財の保護に尽力されていて大変だと思うが、出品される芝地鶏はおよそ1～2歳程度か。また、過去に出品され台帳に登録されているものはどうなっているのか。
岡村委員	審査会に出品されるのは通常1歳を迎えたものである。芝地鶏の寿命は4、5年程度であるので、台帳に登録されているものを審査会に合わせて滅失があるかどうか確認している。
平山委員	評価がBとなったものは一番若い鶏であるが、来年になれば成長して評価が高まることがあるのか。
岡村委員	この鶏は良い鶏であったと思う。若い鶏なのでもう少し成長し仕上がってみないと分からない部分もあるが、来年出品される可能性もある。若鶏の場合、翌年に出品して優良品種となったことは過去には2点程度ある。
荒木会長	芝地鶏は、岡村委員宅に行けば見せてもらえるのか。
岡村委員	お見せすることは可能であるが、最近鳥インフルエンザなどの対策をとっているので、小屋の中に人を入れることは難しい。小屋から鶏を出して見てもらうことになる。公共の場所、例えばしらさぎ森林公園などに鶏舎があれば一般の方に見ていただけるのだが、実現は難しいのが現状である。
荒木会長	小学校3年生の副読本にも、市の鳥として芝地鶏が載っているが、実物を見ることができないのは残念である。
関委員	芝地鶏を飼育しているのは何人おられるのか。また、審査会に出品された以外に何羽いるのか。
岡村委員	審査会に出品されるのは、その年の一番良いものを選んで出品する。その他に3倍程度生まれているのではないかと。 市内の飼育者は3人で、市外にも長岡市や新潟市に飼育している方がおられるが、飼育者が増えず後継者が不足している。 市内で飼育されている芝地鶏だけで交配を続けていると近親交配が進むので、市外の優良な芝地鶏とも交配をしている。
荒木会長	質問、意見はないか。
	(質疑、意見なし)
荒木会長	等級審査で優良評価となった6羽について、登録台帳に登録することでよいか。
	(異議なし)
	(3) 『三条市文化遺産リスト』について
荒木会長	事務局より説明願いたい。
事務局	市内に所在する文化財の適切な保護を図る基礎資料として作成された『三条市文化遺産リスト』に新たに追加が必要と認められる文化遺産について、佐藤委員から追加候補物件の提出があったので、物件の説明をお願いしたい。
佐藤委員	三条市立裏館小学校校長室に収められている三条市名誉市民である諸

	橋轍次博士の書の扁額「五訓」は、諸橋の教育者として「謙虚、且つ真摯」な姿勢が強くにじみ出ている書風である。加えて、学校関係に書かれた書としては初期のものと考えられ、資料的にも貴重な扁額である。
関委員	改装されたとあるが、三条市内の業者が行ったのか。
佐藤委員	市内の業者により改装された。
荒木会長	諸橋先生の比較的若い頃の書が裏館小学校に保存されていることはとてもいいことだ。状況が良くないところがあるとのことだが、どこが傷んでいるのか。また、修復することはできないのか
佐藤委員	一部が剥がれたり、改装の際のクリーニングにより紙が溶けて薄くなったと思われる箇所がある。このような状態のものを取り扱ったことがないので、修復できるかは不明である。
岩田委員	複製を作製したようであるが、その複製はどのようになっているのか。
佐藤委員	ミニチュアの複製で、記念品として配布したものである。
荒木会長	他に質問、意見はあるか。
	(質疑、意見なし)
荒木会長	諸橋轍次博士書扁額「五訓」1点について、三条市文化遺産リストに追加掲載してもよいか。
	(異議なし)
荒木会長	何か質問、意見はあるか。
	(質疑、意見なし)
荒木会長	これで閉会とする。

以上